

承認番号	
研究課題名	三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス ―手術部位感染症―
研究の意義・目的	<p>新しい抗菌薬の開発が低迷する中、新興感染症や耐性菌の対策が課題となっています。三学会合同抗菌薬感受性サーベイランスは、2009年より公益社団法人 日本化学療法学会、一般社団法人 日本感染症学会、一般社団法人 日本臨床微生物学会が合同事業として行われています。手術部位感染症を含む感染症において原因菌の各種抗菌薬に対する感受性を経年的に測定し、耐性菌の動向を監視することを目的としています。本研究によって得られた結果は、国内外での学会発表、及び論文を専門誌に投稿することで、多くの医療従事者に情報が提供され、抗菌薬の適正使用に貢献します。</p> <p>本研究は広島大学が中心となって行う研究です。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～ 2024年9月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2021年12月～2023年6月に大阪公立大学医学部附属病院肝胆膵外科で、肝胆膵疾患のため入院され手術を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>試料：手術部位感染の原因菌を特定するために採取した検体。（排膿液、穿刺液、腹水、胆汁）</p> <p>診療情報等：【診断名、年齢、性別、感染症名】</p>
試料・情報の他機関への提供	この研究は 広島大学病院感染症科へ頂いた試料・情報を提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。
この研究を行っている共同研究機関	<p>代表研究機関：広島大学病院 感染症科 氏名：大毛 宏喜</p> <p>共同研究機関：三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス 手術部位感染症 参加施設</p> <p>http://www.3ssp.jp/database/surgical_institutions.html</p>
試料・情報を管理する責任者	広島大学病院 感染症科 研究代表者：大毛 宏喜
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究は、下記の会社より研究資金の提供を受け実施しています。</p> <p>杏林製薬（株）/グラクソ・スミスクライン（株）/塩野義製薬（株）/住友ファーマ（株）/大鵬薬品工業（株）/武田テバファーマ（株）/ファイザー（株）/富士フィルム富山化学（株）/マルホ（株）/Meiji Seikaファルマ（株）/大原薬品工業（株）/小林化工（株）/沢井製薬（株）/高田製薬（株）/長生堂製薬（株）/東和薬品（株）/日医工（株）/ニプロ（株）/陽進堂（株）</p>
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>研究責任者 大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 病院講師 新川寛二</p> <p>住所 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 肝胆膵外科学医局</p> <p>電話番号：06-6645-3841</p> <p>FAX：06-6646-6057</p> <p>メールアドレス：h-shinkawa9876@omu.ac.jp</p>